

Working mother

ワーキングマザー



営業職を 選んだわけ

私は2009年に有限会社遠藤青汁へ入社し、現在2歳の男子1人を育てながら、営業担当として働いています。青汁ドリンク等の商品を松山市内の個人宅や店舗・企業に配達するかわら、より多くの方に商品の良さを伝える「営業」の仕事をしています。

井上 智子さん

- 家族構成／夫、子ども(2歳男)、義母の4人家族
- 子どもの預け先／幼稚園
- 仕事／有限会社遠藤青汁
- 職種／営業企画
- 勤務時間／1日6時間
- 勤務歴／7年(再雇用前の期間含む)

タイムスケジュール

- 06:30 起床
- 07:00 朝食
- 08:30 幼稚園へ見送り
- 09:00 出社、配達50件 & 新規開拓
- 12:00 外出先で昼食
- 13:00 事務作業、発送 & 梱包
- 16:00 退社
- 16:30 幼稚園へお迎え
- 19:00 夕食
- 21:00 明日の準備、寝かしつけ
- 22:00 帰宅後の夫と会話
- 23:00 就寝



自分以外の人が自分の強みを知っていることも

以前はサービス業や動物病院の看護師を、仕事で経験しました。勤務時間が長すぎて私にはきつかったり、「これは私が本当にやりたい仕事?」と悩んだりして辞めてしまいました。「次こそ!」と3度目の転職で今の会社に入社しました。事務職に就き半年たったころ、「井上さんは営業の方が向いている」と背中を押され、私は人生初の営業を経験することになりました。「まさか私が営業職をするなんて!」と自分でも驚きで、当時は正直、「私には無理なんじゃないか」と思っていました。でも、やってみると案外、営業は自分に合っていたのです。「試しに飲んでみませんか」と企業や個人宅に飛び込みで訪ねていくわけですから、当然断られることも多く、辛いと感じるときもあります。しかし、商品の良さがお客様に伝わった時の喜びは言葉に言い表せません。

退職した後も仕事のやりがいを思い出し…

のちに夫と知り合い結婚し、子どもが生まれ仕事を続けていたのですが、夫のカフェ開業の手伝いもあって一度、会社を退職しました。やがて夫の経営する店が軌道に乗り、子どもと2人きりで過ごす生活が日常となると、やりがいをもって働いていた日々を懐かしく思うようになりました。私は「育児の喜び」と「仕事のやりがい」どちらもあきらめたくありませんでした。「仕事(遠藤青汁の営業)に戻りたい」と社長に相談し、半年前に復帰しました。今はパートという働き方を選択させてもらっています。

育児中でももっと活躍したい

復帰した今は幼稚園へのお迎えという、仕事のタイムリミットがあります。「本当はもっと仕事したいのに、私には時間がない」と思うこともあります。復帰間もなく、仕事と家庭をうまく回すことができている私に社長は、「育児中の母親だからといって会社のサポート的な役割に、とは思わない。早く自分なりのワークライフバランススタイルを見つけて、自分が望むだけの活躍をすればいい」と言います。会社に期待されていることは、私の励みでもあるのです。

NPO法人ワークライフ・コラボの

シゴト×ライフスタイル

★ポイントはここ★

営業は明るい雰囲気、心配り、物腰の柔らかさ、きめ細かい対応など、女性ならではのスキルを活かすことができます。誰かに背中を押されたとき「多分無理」ととらえるのか、「やってみよう」と思うのか。井上さんは後者を選び「自分が活躍できる場所をやっと見つけた」と話してくれました。

今回の取材担当

西山 友恵

小3息子と小1娘をもつ40歳。趣味は仕事やプライベートのスケジュールを眺めつつ、日々の生活を段取りすること。効率よく過ごせた日が快感です。



イベント・各種情報アップしています!

【FB】▶ <http://www.facebook.com/worcolla>

【HP】▶ 「ワークライフ・コラボ」で検索